

夢見るホッケー教室



Presented by



ENEOS



夢見るホッケー教室 in オアシス 21 銀河の広場 実績報告書

- 1 趣 旨 ホッケー競技の普及と競技力向上のため、トップレベルの選手たちによりホッケーの楽しさと魅力を伝えるとともに、あらゆる人々がスポーツを楽しめる機会を提供し、地域社会に貢献する。スポーツをする機会が減少している状況を踏まえて、全国の子どもたちを対象に、安心・安全にスポーツに触れ合える機会を提供する。
- 2 主 催 公益社団法人日本ホッケー協会
- 3 特別協賛 ENEOS ホールディングス株式会社
- 4 協 力 一般社団法人愛知ホッケー協会、NPO 法人愛知スポーツ倶楽部
Sony Hockey Club Stellars、名古屋国際中学校・高等学校 陸上ホッケー部
- 5 開 催 日 令和 8 年 8 月 5 日（水） 15:00～18:00
- 6 開催場所 オアシス 21 銀河の広場 （〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1 丁目 11-1）
- 7 参加人数 91 人
- 8 講 師 Sony Hockey Club Stellars の選手 15 名
- 9 補助員 名古屋国際中学校・高等学校 陸上ホッケー部
- 10 事業担当 （公社）日本ホッケー協会_YumeProject グループ 藤井・花見
yumeproject@japan-hockey.org



ENEOS



WINNER
私たちがスポーツ振興くじ助成を受けています。



○教室内容

15:00～18:00 の時間内で自由に参加可能

スタンプラリー形式で、4 つのホッケー体験ブースを巡る参加型イベントを実施。

参加者は各ブースでホッケーに関する体験を行い、スタンプを集めながら、楽しみながらホッケーに触れる機会を提供した。

【実施ブース】

- ① パスにチャレンジ →ホッケーの基本となるパスを体験。選手と1対1でパス交換を行った。
- ② ドリブル&シュートにチャレンジ →コーンの間を縫うようにドリブルし、最後はポップアップゴールにシュートを挑戦。
- ③ 選手と対決！ →選手と一緒にミニゲームを行い、実際の試合に近い形でホッケーを体験。
- ④ 写真撮影→日本代表選手のパネルの前で記念撮影を実施。

4 つすべてのブースを回ってスタンプを集めることで、イベント全体を通してホッケーを体験できる構成とした。



○所感

＜開催地担当：愛知ホッケー協会 愛知スポーツ倶楽部 永井東一様＞

この愛知県において、普及体験型の夢見るホッケー教室を開催頂き、誠にありがとうございました。約 100 名の参加者にホッケーを初めて体験して頂けたことは、ホッケーの認知度向上、加えてアジア競技大会の紹介、ホッケーをやりたいと思った方へのクラブの案内と、やるべきことを重ねてできたことは、愛知県のホッケーにとって非常に大きなことであると深く感謝申し上げます。

今回、参加してくれた子供たちの集中した面持ちと、暑さにも負けない動き、そして点を決めた時に大きな喜びを表現してくれたことが強く印象として残りました。そして、指導に当たってくれた Sony Hockey Club Stellars の皆様とサポートスタッフ、補助員として協力してくれた名古屋国際中学・高校ホッケー部員のみんなが、オアシス 21 を訪れる皆様に、一生懸命笑顔でホッケーの体験会を案内して、体験者の数を増やしていただきましたことは、本当にありがたく、頭の下がる思いでした。あの行動こそが、地域協会の取るべき行動であるとの思いを強くさせて頂きました。

今後の改善策としては、せっかく商業施設で不特定多数の方に体験を求めるためには、季節を選ぶ必要があることと、開催曜日を休日を持ってくるということ、一番人気のあったゲーム形式のコーナーを充実させることではないかと考えます。ご参考にしていただければと存じます。

愛知県だけ何度もやっていただくわけには行かないと思いますが、オアシス 21 という会場が使えるようになったことは、都市部における普及体験型の夢見るホッケー教室の定期開催の道を開くことができたのではないかと感じます。ぜひともご検討いただきたくお願い申し上げます。

今回のイベントに関係頂きましたすべての皆様に、心から御礼を申し上げまして、愛知ホッケー協会からの御礼のご挨拶及びご報告とさせていただきます。猛暑の中、本当にありがとうございました。

＜講師：真田 遥果（Sony Hockey Club Stellars）＞

限られた時間の中でしたが、老若男女問わず、沢山の方がホッケーを体験しに来てくださり終始楽しい時間を過ごすことができました。選手たちとのゲームでは初対面でも点を決めてハイタッチしている場面や、「ゴール前いいよ！」と声を出している姿を見て、私たちも改めてホッケーの魅力を感じる事が出来ました。ゲームが終わると、「もっとやりたい！」「ホッケー練習しよう！」とみんなが楽しんで取り組んでくれていたのが嬉しかったです。

夢みるホッケー教室を通してとても充実した時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

＜講師：大塚 みなみ（Sony Hockey Club Stellars）＞

今回、講師として夢見るホッケー教室に参加させていただき、たくさんの方と一緒にホッケーを楽しむことができました。初めてホッケーをする子供たちが、ボールを追いかけたりシュートを打ったりする中で、少しずつ笑顔になっていく姿がとても印象に残っています。また、「何十年ぶりにホッケーをします！」と話してくださる方もいて、久しぶりにホッケーを楽しんでいただけたことも嬉しく思いました。教室の最後に「楽しかった！」「ありがとう！」と笑顔で言っていただき、ホッケーの楽しさを伝えることができた喜びを改めて感じました。指導する中で少しでもホッケーの魅力を知ってもらえたこと、そして何より「ホッケーをやってみよう！」と思ってもらえたことが嬉しかったです。

今回の教室を通して、ホッケーを少しでも身近に感じてもらい、これからホッケーを始めるきっかけになっていたら嬉しいです。参加して下さった皆さん、ありがとうございました！



<講師：五島 希（Sony Hockey Club Stellars）>

小学生以下の小さな子供から、大人の方まで幅広い世代の方に体験してもらえて、嬉しく思います。最初は、戸惑いながら参加していた子供たちも徐々にスティックの操作に慣れていくうちに積極的になっていく姿が印象的でした。一緒に来られた親御さんにも体験してもらい、初めての体験に興味を持ちながら、ホッケーの楽しさを体感してもらいました。

また、海外の方にもご参加いただき、言葉や文化が違っても「ホッケーを楽しむ」という共通点があることで自然と笑顔が生まれ、ホッケーを通じて、国籍を超えた交流、そして、様々な人とのつながりが生まれることを実感しました。

参加者の楽しそうな姿を見て、わたし自身もホッケーを始めた頃の初心を思い出しました。この体験をきっかけに「またホッケーをやりたい」と思ってくれる方が一人でも増えたら嬉しいです。

<名古屋国際中学校・高等学校 陸上ホッケー部>

本校生徒は補助員として、本イベントに参加させていただきました。はじめは何をすればよいのか迷っていた生徒たちでしたが、次第に自分たちで声を出し、参加者を集め、体験を手伝っていました。自分が誰かの役に立てたという経験を、部活動を通して行うことができました。昨今の部活動を取り巻く部活動の情勢において、部活動の意義のようなものを再認識できたと思います。このような機会を与えてくださったすべての関係者の皆様に御礼申し上げます。



○教室風景





